

三菱自動車が建設を支援した、インドネシアの小学校 2 校 開校式を開催

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）が校舎整備を支援したインドネシア共和国の小学校 2 校で、開校式が行われました。



今回の校舎整備支援事業は、三菱自動車が国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパンと連携し、子どもの学習環境の改善を目指すものです。三菱自動車は、三菱自動車社員有志の募金^{*1}と合わせて 580 万円を支出し、小学校 2 校の校舎建設と、黒板や机・椅子等の備品や本の寄付を行います。

東ヌサトゥンガラ州東マンガライ県にある小学校の開校式にあたり、三菱自動車の生産会社、ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア CFO の花岡 英樹は「三菱自動車はインドネシアの皆さまに支えられ、自動車の生産・販売を営んでまいりました。私たちの支援が、小学校新校舎の建設の一助となったことは喜びであると共に誇りでもあります。子どもたちがこの校舎で沢山のことを経験し、インドネシアの発展を担って行くことを願ってやみません」と述べました。

三菱自動車は、2018 年にマテリアリティ（重要課題）の一つに「事業を通じた地域経済への貢献」を掲げ、アセアン地域における事業の発展を通じ、雇用、人材育成、投資、技術移転、輸出による地域経済への貢献を果たすことを目標として事業活動に取り組んでいます。さらに環境と社会貢献の分野でもアセアン地域における課題解決に向け、三菱自動車独自の技術・サービスを生かして取り組んでいます。

*1…2009 年 4 月に導入。三菱自動車グループ社員が自らの意志で毎月定額を募金し、積み立てた募金を三菱自動車の社会貢献活動方針に基づいて継続的に社会に役立てる仕組み